

米国・トランプ政権は ベネズエラへの 無法な侵略を ただちにやめよ

高市政権は米国へ無法な侵略の中止を求めよ

田村委員長が訴え **日本共産党**



YouTube
で街頭演説をご覧になれます

田村委員長は1月5日、池袋駅東口でおこなった街頭演説で、ベネズエラを武力攻撃し、マドゥロ大統領夫妻を拘束・連行したトランプ米政権を厳しく批判しました。トランプ政権を一言も非難しない高市政権についても、他国への武力行使、武力による威嚇を放棄している憲法9条を持つ国として、ベネズエラへの武力攻撃をやめ拘束した指導者らを直ちに解放するよう「アメリカに求めるべきだ」と主張しました。

問われているのは世界の秩序—志位議長



日本共産党の志位和夫議長は5日、X(旧ツイッター)で、「ベネズエラでトランプがやったことが許されれば、世界のどこであれ『力による現状変更』が許されることになる。これはベネズエラだけの問題ではない。問われているのは、世界の秩序の問題なのだ」と発信しました。

また、「高市首相は、これに異を唱えなければ、『力による現状変更反対』と主張する資格を永久に失うだろう」と述べました。

アメリカはベネズエラ侵略やめ拘束した指導者を解放せよ
国連憲章に基づく平和秩序を

東京
民報

ご連絡・ご要望は 03-5972-1621、FAX03-5972-1590
2026年1月号外 日本共産党の見解を紹介します。
発行/東京民報社(港区芝1-4-9平和会館5階)1965年11月12日 第三種郵便物認可

日本共産党
参議院議員

山添 拓

